資料1

# 1.定住自立圏の協定に基づいた物流課題解決に向けて

「北・北海道中央圏域」定住自立圏を構成する13市町村

名寄市、士別市、剣淵町、和寒町、幌加内町
下川町、西興部村、美深町、音威子府村、中川町
枝幸町、浜頓別町、中頓別町

2020年度　圏域全体のふるさと納税寄付金額
約1,000百万円

返礼品発送個数
約66千個

## 寄付金増による返礼品需要の増加

**■課題**

**・自治体　：ふるさと納税の募集や受入等に伴う費用（50%）**

返礼品の送付にかかわる輸送コスト（日本最北端から本土への輸送）が高く、
返礼品開発に制限、年内送付に間に合うように寄付金受け入れ期限を早めている。

**・サプライヤ　様　：受注増となるも業務過多、製造・保管・輸送管理・資材発注管理が困難**

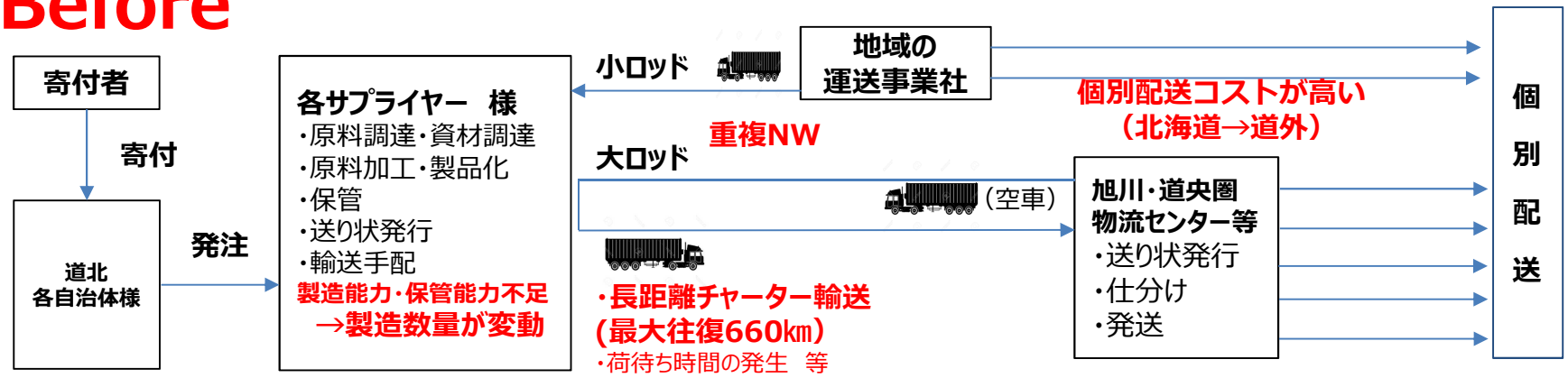
①製造量増加による既存保管施設の狭隘化、作り置きができない。
②作業員不足のため供給が間に合わない、主たる業務にも影響。

**・運送会社　様　：不規則な出荷により荷量確保と配車が困難**

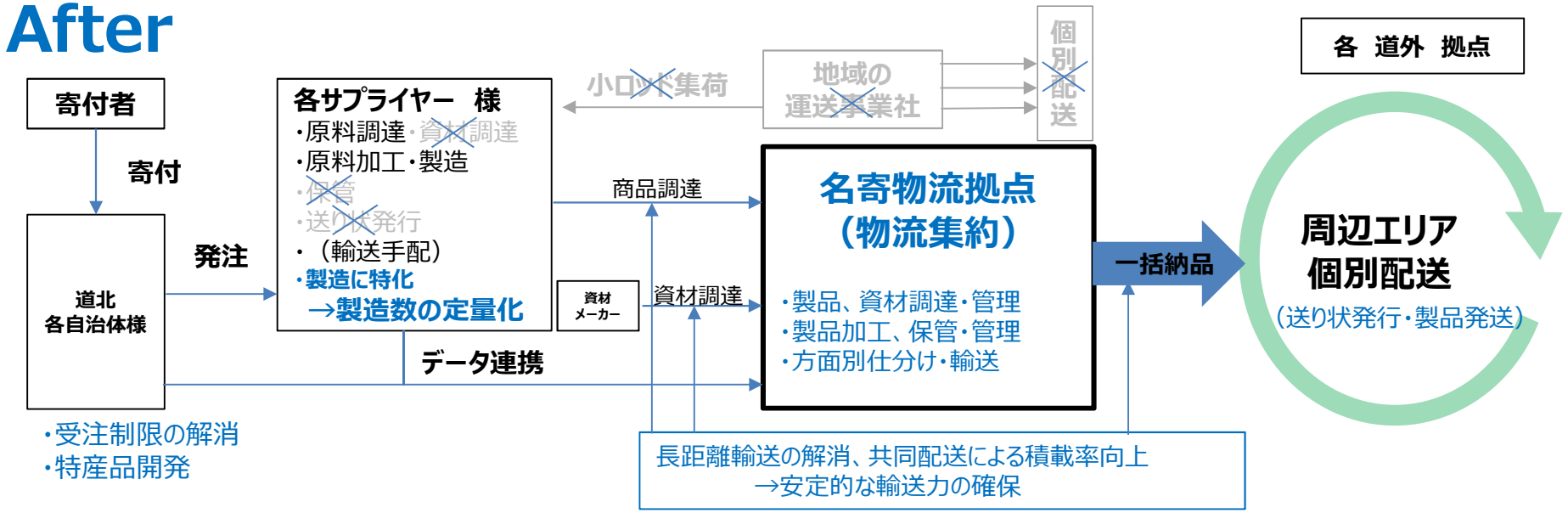
①車両台数、発送作業員数が日々変動し、業務計画が定まらない。荷待ち時間の発生。
②大ロッドが地域の営業所で対応できず、旭川や道央圏倉庫まで チャーター輸送。
　→小口とのダブルネットワーク発生、**輸送コスト増加。**

# 2.課題解決に向けた返礼品出荷プラットフォームモデル

## Before



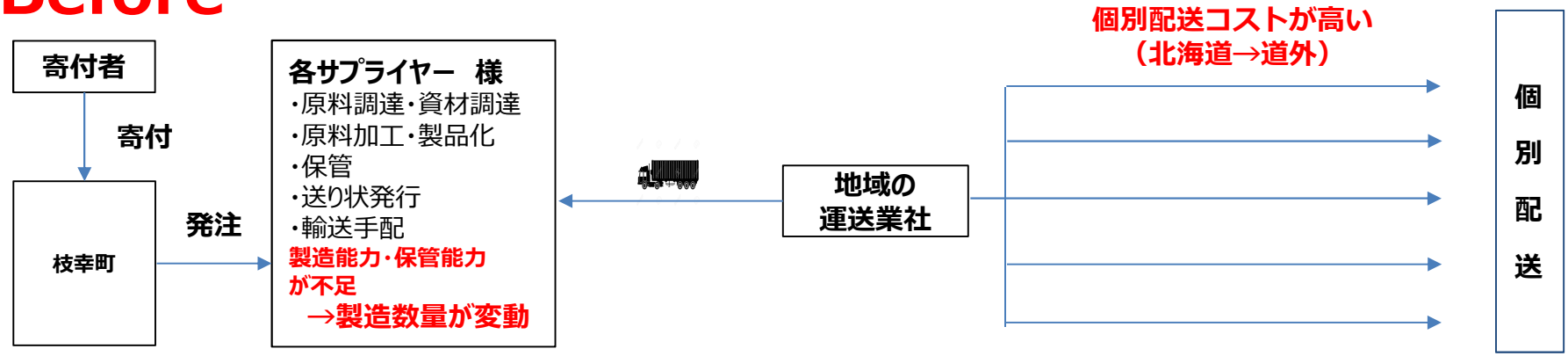

## After



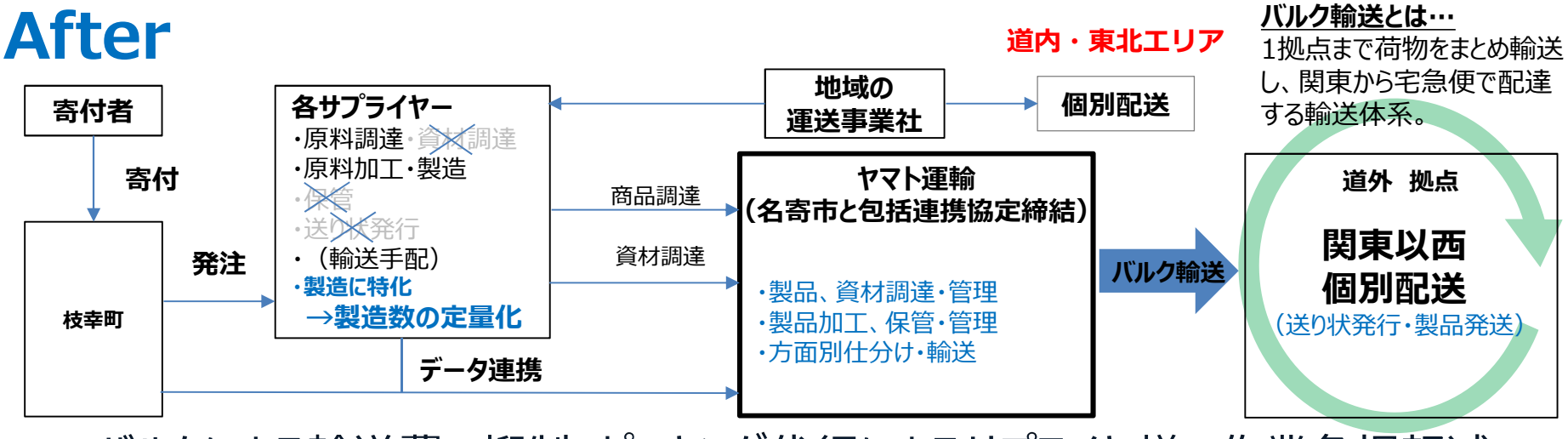

**個々の業務を集約し作業・輸送の課題解決、コスト改善を目指す**
**産物を集約し、圏域連携による新たな特産品の開発・事業拡大に寄与**

# 3.圏域連携による実証実験フロー（枝幸町）

## Before




## After




**バルク輸送とは…**
1拠点まで荷物をまとめ輸送し、関東から宅急便で配達する輸送体系。

バルクによる輸送費の抑制、ピッキング代行によるサプライヤ様の作業負担軽減

**輸送コスト抑制、寄付金受け入れ期限の延長**
**新たな返礼品開発・寄付金額増加に寄与**